

議会だより

たかねざわ

地域を守る!

7

July.2026
No178



ファイヤー・ファイター

町消防団 消防ポンプ操法競技会

Contents



- | | |
|--|---------------------------------------|
| ☐ 議会構成…………… 2 | ☐ 一般質問 …………… 9 |
| ☐ 第438回定例会…………… 4 | ☐ 突撃インタビュー |
| ☐ 常任委員会…………… 6 | 石塚尚美さん…………… 20 |
| ☐ 全協NEWS…………… 8 | |

5月臨時会

新体制のスタート

まち・くらしの常任委員会で審査と調査

まちづくり常任委員会



前列 委員長 野口 昌宏

副委員長 小堀 秀一

委員 野中 昭一

後列 委員 澤畑 宏之

齋藤 誠治

小林 欽一

岩崎 康弘

町の経営計画・インフラ整備・財政、産業の振興を担っており、所管するのは、

・総務課

・企画課

・都市整備課

・上下水道課

・農政課

・商工観光課

・新庁舎整備課

・会計課

・議会事務局

・監査委員事務局

・選挙管理委員会事務局

・農業委員会事務局

の、8課4局です。

議会運営委員会



議会の円滑・効率的な運営のためのルールや、定例会・臨時会の進め方を協議します。

後列

委員

野口昌宏

瀧 幸彦

小堀秀一

前列

委員長

小池哲也

副委員長

野中昭一

委員

森 弘子

監査委員



野中 昭一

定数2名のうち議会からの委員1名を選出しました。

広報常任委員会



前列 委員長 瀧 幸彦

副委員長 小堀 秀一

委員 寺内 光夫

後列 委員 小林 欽一

岩崎 康弘

平石 美香

議会活動に関する事項を町民に周知することを目的に設置されており、「議会だより」の編集・発行を行っています。



採決結果はこちら

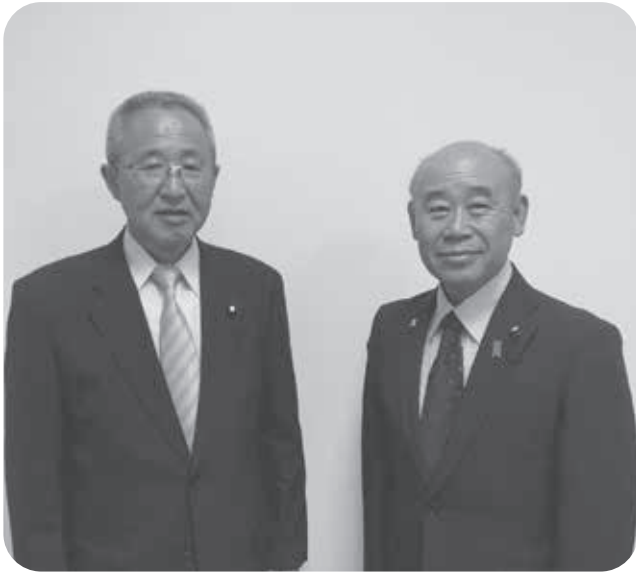
広報で議会活動の透明性と説明責任の確保
広聴で住民の意見を反映

第437回臨時会のあらまし

令和8年5月12日、選挙後最初の臨時会が開催され、議会の構成である正副議長、各委員会の委員や議会選出の各種委員などを決定しました。

また、令和7年度補正予算など町長専決処分事項の承認や令和8年度補正予算についての議案を審議しました。

議会を代表する2人



副議長 齋藤 誠治 議長 澤畑 宏之

広聴特別委員会



町民の意見と要望を幅広く把握することを目的に設置されており、主に「カフェ・ド・ギカイ」を開催しています。

前列 委員長 小堀 秀一

副委員長 小池 哲也

後列 委員 野口 昌宏

森 弘子

塩谷広域行政組合議会

議員

野中 昭一

齋藤 誠治

澤畑 宏之

野口 昌宏

国民健康保険運営協議会

委員

森 弘子

小池 哲也

消防委員会

委員

仲澤 勇

寺内 光夫

岩崎 康弘

都市計画審議会

委員

森 弘子

齋藤 誠治

野口 昌宏

瀧 幸彦

6月
定例会

大規模改修始まる！ つくる高根沢

阿久津中学校校舎 町民の声が未来を



第438回議会定例会のあらまし

定例会は6月9日から17日までの9日間の日程で開催されました。
教育委員会委員の任命同意1件、条例の一部改正4件、補正予算4件、工事の契約および協定の締結4件、報告6件、陳情1件を審議しました。
一般質問は、10人の議員が登壇し、町政について執行部との論戦に臨みました。(P9～19)



採決結果はこちら

新庁舎整備に向けて着々と

町民広場内既存施設解体工事の契約変更

工事期間

令和7年6月20日から
令和8年6月19日まで

契約金額

変更前 5億7249万円
変更後 5億8702万円

理由

設計時に把握できていなかったアスベスト含有建材等を適切に処分・撤去するため。

事業費が確定し、一般会計補正予算に反映されました。

建築制限解除に伴う雨水排水施設等整備工事

工事概要

新庁舎等建設工事に先行して整備が必要となる、雨水貯留槽、雨水浸透槽、防火水槽を設置するもの

工事期間

令和8年7月23日から
令和8年10月30日まで

請負金額

2億1483万円

契約業者

渡辺・荻原特定建設工事共同企業体

大規模改修で校舎寿命を80年に

阿久津中学校校舎長寿命化改修工事

工事概要

建築後40年以上が経過した校舎の全面的な長寿命化改修工事で、屋上防水、外壁塗装、サッシの改修、エレベーター増築、空調・電気

工事期間

令和8年6月12日から
令和10年5月31日まで

請負金額

14億8460万円

契約業者

松本建設株式会社



国の交付金が採択され、念願の事業着手へ

工事施行協定の締結

烏山線宝積寺・下野花岡間宝積寺跨線橋補修工事

工事概要

ひび割れ補修工事・断面修復工事・剥落防止工事

契約方法

随意契約（1者特命）

工事期間

協定締結の日から
令和9年3月31日まで

契約金額

6944万円

契約業者

東日本旅客鉄道株式会社

人事案件

教育委員の任命



佐藤 豪男 氏
(再任)

任期

令和8年6月25日から
令和12年6月24日まで

ここから町議会議員が誕生することを期待

5月25日に北小、28日に上高根沢小の3年生が社会科見学として役場にきました。役場の各課を見学した後、議場で模擬議会を開催。児童が議員となり、町長役の先生

に「学校に行くのが楽しくなるためには」というテーマで質問し、議会の雰囲気を経験しました。議長席に座った児童は、議長役を立派に務めていました。



【北小】

給食に毎日デザートをつけてほしい。毎日、図工の時間があるといい。

【上高根沢小】

毎日の授業の科目をくじで決めたい。





陽だまり保育園の学童クラブに補助

2議案が当委員会に付託され、陳情1件と併せて審査が行われました

一般会計補正予算

主な歳入補正

○農林水産業費県補助金
(農地利用効率化等支援交付金)

2937万円

○一般寄付金

200万円

主な歳出補正

○財産管理費(町有財産管理費)の、旧東小学校跡地測量等業務および花岡地区集落センター解体工事実施設計業務に伴う追加

1960万円

○観光費(道の駅たかねざわ元気あつぷむら運営費)の増額

600万円

主な質疑

Q 町有財産管理費の内訳は？

条例の一部改正

【改正内容】

高根沢町ちよつ蔵広場の施設

A 総務課長

旧東小学校跡地利用測量等業務、その土地の不動産鑑定業務、花岡地区集落センター解体工事実施設計業務を予定している。

道の駅たかねざわ元気あつぷむら運営費

Q 空調設備更新を当初予算に計上しなかった理由は？

A 商工観光課長

故障が部分的だったので稼働可能なだけで対応できていたが、故障箇所が増えて対応しきれなくなったため補正予算となった。

委員会審査結果

全員一致で可決すべきものと決定

一般会計補正予算

主な歳入補正

○子ども・子育て支援施設整備交付金(陽だまり保育園学童クラブ整備に対する国庫補助)

1343万円

主な歳出補正

○消防ポンプ自動車整備事業費(消防団本部資機材搬送車購入費)

390万円

主な質疑

Q 資機材搬送車とは、どのような車両か？

A 地域安全課長

軽トラックを機装する。赤色灯等を付けるほか、幌やゴムマットの整備を考えている。

陽だまり保育園学童クラブ整備補助

Q 陽だまり保育園の学童クラブ整備事業や子育て支援センター整備事業の事業費総額に変更があった場合の補助額はどのようなか？

A こどもみらい課長

工事完了後、国の補助単価の基準額に満たない場合は清算する。基準額を超えても基準額までの補助になるため町の支出額は変わらない。



中古バスを購入し、エアコンをつけて校舎としている現状

設に「宝積寺駅東多目的広場」を追加し、供用時間を終日とする。

主な質疑

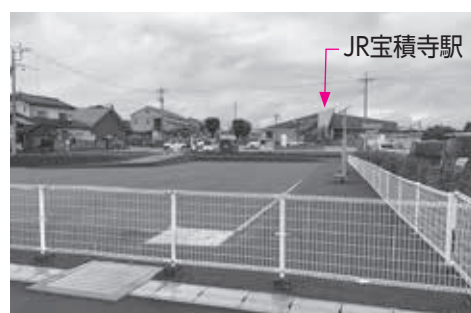
Q 多目的広場はイベント等で借りられるのか？

A 都市整備課長

使用料は条例に基づき、1㎡当たり月額100円を上限として貸し出す。指定管理者に貸し出しの申請手続き等は行ってもらう。

委員会審査結果

全員一致で可決すべきものと決定



雨水貯留槽の上に設置された多目的広場

介護保険特別会計補正予算

委員会審査結果

全員一致で可決すべきものと決定

陳情審査

「スクールバス・タクシーの安全運用体制の強化および運用ルール整備に関する陳情」

【概要】

上高根沢小学校で運用されているスクールバス・タクシーについて、今まで発生した事故の再発防止を含めた制度整備を検討してほしい。

主な意見と委員会審査結果

子どもの安全を守るため、教育委員会と事業者者に再発防止を求める趣旨は理解できるが、要望事項に書かれている運用ルールを議会で策定するのは難しいとし、全員一致で「趣旨採択」とすべきものと決定

くらしづくり常任委員会 2ヵ年の日常調査活動計画決まる！

<所管事務調査>

1. 学校運営に関すること
2. 福祉の充実にに関すること
3. 未来に向けた環境に関すること
4. 町民の安全安心に関すること
5. 高根沢町議会委員会条例第27条に基づく日常調査に関すること ほか全6項目

令和8・9年度の調査課題

1. 子育てしやすいまちづくりに関すること
2. 生きがいづくりに関すること



第438回定例会
くらしづくり常任
委員長報告全文



高根沢町ちよつ蔵広場の施設に「宝積寺駅東多目的広場」を追加

4議案が当委員会に付託され、審査が行われました

一般会計補正予算

主な歳入補正

○農林水産業費県補助金
(農地利用効率化等支援交付金)

2937万円

○一般寄付金

200万円

主な歳出補正

○財産管理費(町有財産管理費)の、旧東小学校跡地測量等業務および花岡地区集落センター解体工事実施設計業務に伴う追加

1960万円

○観光費(道の駅たかねざわ元気あつぷむら運営費)の増額

600万円

主な質疑

Q 町有財産管理費の内訳は？

条例の一部改正

【改正内容】

高根沢町ちよつ蔵広場の施設

A 総務課長

旧東小学校跡地利用測量等業務、その土地の不動産鑑定業務、花岡地区集落センター解体工事実施設計業務を予定している。

道の駅たかねざわ元気あつぷむら運営費

Q 空調設備更新を当初予算に計上しなかった理由は？

A 商工観光課長

故障が部分的だったので稼働可能なだけで対応できていたが、故障箇所が増えて対応しきれなくなったため補正予算となった。

委員会審査結果

全員一致で可決すべきものと決定

条例の一部改正

【改正内容】

高根沢町ちよつ蔵広場の施設

設に「宝積寺駅東多目的広場」を追加し、供用時間を終日とする。

主な質疑

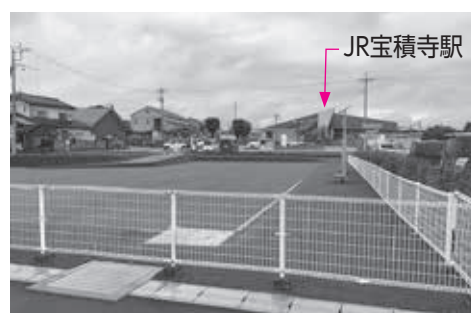
Q 多目的広場はイベント等で借りられるのか？

A 都市整備課長

使用料は条例に基づき、1㎡当たり月額100円を上限として貸し出す。指定管理者に貸し出しの申請手続き等は行ってもらう。

委員会審査結果

全員一致で可決すべきものと決定



雨水貯留槽の上に設置された多目的広場

まちづくり常任委員会 2ヵ年の日常調査活動計画決まる！

<所管事務調査>

1. 住民との協働のまちづくりに関すること
2. 安心・安全なまちづくりに関すること
3. 雨水対策に関すること
4. 魅力ある地域振興に関すること (農業・工業・商業・観光)
5. 新庁舎整備を含めた公共施設のあり方に関すること ほか全9項目

令和8・9年度の調査課題

1. 国道408号と4号合流地区の開発
2. 新庁舎周辺地域の開発
3. 高根沢だいのほら産業団地の周辺整備



第438回定例会
まちづくり常任
委員長報告全文

一般質問

町民の声を町政に！

論戦

一般質問って？

「一般質問」は、町の行財政全般に関し、議員主導で政策的な論議をする場です。

質問時間は、一人につき質問、答弁、再質問を含め60分以内です。

本誌では、太字の質問を要約して掲載しています。全質疑の詳細は、YouTubeをご覧ください。

小堀 秀一 議員 …… P10

- ①自転車の道路交通法改正に対する町の対策は
- ②生成AIについて
- ③小中学校のプールの今後は

寺内 光夫 議員 …… P11

- ①元気あっぷむらをどのように位置づけるのか
- ②町民の挑戦を後押しする仕組みは整っているのか
- ③学校現場との連携については

小林 欽一 議員 …… P12

- ①選挙の投票率を向上させるための取り組みを
- ②高根沢町内の公共交通網の整備を
- ③高根沢町におけるふるさと納税の活用促進について

瀧 幸彦 議員 …… P13

- ①区域外の生徒の一時的な転校を受け入れるデュアルスクールを推進してはどうか
- ②オーラルフレイル対策で介護予防を

平石 美香 議員 …… P14

- ①2028年開庁 新庁舎 中東情勢の影響は？
- ②元気あっぷむら館内について

齋藤 誠治 議員 …… P15

- ①若手・新規就農者の確保と農業振興対策は
- ②高根沢だいのほら産業団地周辺の土地利用は

森 弘子 議員 …… P16

- ①高齢者が健康で安心して住み続けられる環境づくりを
- ②安心して学べる学校環境の充実を！

野口 昌宏 議員 …… P17

- ①道の駅たかねざわ元気あっぷむらの早急な経営再建を
- ②学校給食をより充実するために保護者負担も求めては

岩崎 康弘 議員 …… P18

- ①学校給食無償化後の質と量の維持は
- ②情報発信や住民サービス向上に向けて今後は
- ③地区防災計画策定の現状は
- ④選挙の投票率について

小池 哲也 議員 …… P19

- ①土砂災害特別警戒区域の対策は
- ②道路通行支障が夜間・休日発生！ 初動体制は

Facebook
もチェック



会議録
検索システム



傍聴者の声



かしまり 金子 沙織さん
(真岡市)

初めて議会を傍聴しました。

これまで議会は少し遠い存在に感じていましたが、実際に傍聴してみると、町の課題や将来について真剣な議論が行われており、私たちの生活に直結するものもたくさんあり、とても勉強になりました。

議員の皆さんそれぞれが町への思いを持って質問や提案をされていることが伝わり、議会が町政の重要な意思決定の場であることを実感しました。

私たちの生活に関わることで議論されているので、もっともっと多くの方に傍聴していただきたいと思いました。町政を身近に感じる貴重な機会となりました。ありがとうございました。

高根沢だいのほら産業団地事業実施 株式会社エスプールと包括連携協定を締結

5月12日・6月2日

全員協議会
NEWS

第437回臨時会・438回定例会に先立ち、提出される議案のほか、町が進めている計画や事業について、町執行部から概要の説明を受け、質疑が行われました。

だいのほら産業団地

地域経済の活性化を目指して

町が令和7年3月に栃木県へ要望していた新たな産業団地について、令和8年5月に事業実施が決定しました。今後は、町と栃木県土地開発公社、栃木県との役割分担と相互協力のもと、一体となって令和10年度の造成工事開始、令和12年度の工事完了を目指します。

【産業団地名】

高根沢だいのほら産業団地

【事業実施決定日】

令和8年5月11日

【事業実施主体】

栃木県土地開発公社



未来への可能性を拓く

【所在地】
上高根沢字台の原・字上ノ原
【地区面積】
約13ヘクタール
【総事業費】
約27億円

主な質疑

Q 総事業費27億円という予算は高くないか？

A 商工観光課長

総事業費は1ヘクタール当たり2億円となり、他市町と比べて高い方ではないと判断している。

Q 分譲に関して今の引き合い状況は？

A 商工観光課長

キリンビール跡地や情報の森の区画が空いていた当時は、分譲について合計で10件、21ヘクタール分の問い合わせがあった。なお、現在も問い合わせがあり、全区画を分譲できよう進めていきたい。

株式会社エスプール

持続可能なまちづくりの実現を目指す

町は令和8年6月、ソーシャルビジネスを展開する株式会社エスプールと「未来共創」に関する包括連携協定を締結しました。

取組テーマ

◆ゼロカーボンシティの推進
◆最適な公共交通の仕組みづくり

◆道の駅等公共施設の運営実績

全国60の自治体と包括連携協定を締結しており、近隣では塩谷町やさくら市とも脱炭素や環境に関する包括連携協定を結んでいます。

議会として

町の計画や事業は、町民の皆さんの生活に直結する重要なものです。

町政の動きをしっかりと注視し、皆さんの声とともににより良い政策の実現を図っていきます。

問 自転車の道路交通法改正に対する町の対策は

答 【町長】警察と連携しながら実施したい



YouTube

小堀 秀一 議員



Q 一般の町民向けの自転車の安全運転指導や改正された道路交通法についての講習会等を行うべきでは？

A 町長
自転車の安全利用に対する意識は確実に高まっていると認識している。
町ホームページ等で制度導入に関する周知啓発に取り組みなど、交通安全意識の醸成に努めている。
一般の町民向けの講習会等については、各種団体の研修等の機会を捉えるなどして、警察とも連携しながら、実施する方向で検討していく。



Q 自転車に対する交通反則通告制度（青切符）の詐欺事案の発生は、町としても大変憂慮している。町ホームページ等で注意喚起を行うなど、警察と連携して被害の未然防止に努めている。
詐欺被害の疑いがある場合は、警察に相談することが基本となるため、町としては町民が必要に応じて窓口相談できるように、広報等で周知していく。

町民の意識向上に向けて

Q 一般の町民向けの自転車の安全運転指導や改正された道路交通法についての講習会等を行うべきでは？

A 町長

詐欺被害から町民を守れ

Q 自転車に対する交通反則通告制度（青切符）を悪用した詐欺の未然防止対策は？

A 町長

問 小中学校のプールの今後は

答 【教育長】民間施設も活用しつつ安全な授業運営に努める



使用できない中央小学校プール

が進行しているので、必要な補修や修繕を実施しながら施設の維持に努めるが、今後は、教職員の負担軽減や全天候型屋内施設による安全な指導環境を重視し効率的かつ効果的な水泳授業を実現するため、民間施設への移行を順次進めていく。

Q 水泳による健康づくりや体力維持を

A 小中学校のプールを町民プールとして一般開放する考えは？

A 教育長

学校内の施設であることから、利用者の安全管理や監視体制、施設管理体制のほか、敷地内の防犯対策や学校教育活動との調整など様々な問題があるため、現時点では一般開放は考えていない。

Q 安心・安全な水泳授業を

A 老朽化した小中学校プールの今後の管理は？

A 教育長

老朽化により自校プールの利用が困難となっている小中学校では、借上げバスを使用し近隣の民間施設を活用した水泳授業を行っている。
多くのプール施設で老朽化

問 元気あっぷむらをどのように位置づけるのか

答 【町長】観光拠点と町民の福祉向上に資する二面性を持つ施設である



YouTube

寺内 光夫 議員



元気あっぷむらの位置づけと町民参加

Q 元気あっぷむらは、観光拠点としての役割以外にも、町民が関わる場としての役割が大きいと考える。
町としての位置づけや、町民や地域事業者が主体的に関わることや町民の声を届ける仕組みについて問う。

A 町長

元気あっぷむらは観光拠点と町民の健康・福祉の向上に資する役割との二面性を持つ施設であると認識している。
それぞれの役割や目的を明確にし、事業を展開していく必要がある。

町民の皆さんとの協働により、元気あっぷむらを盛り上げていくことが、町の産業振興、都市農村交流および地域の魅力創出にもつながるものと考えている。
町民の声を届ける仕組みについては今後、テナント事業者と一緒に考えていく。

問 町民の挑戦を後押しする仕組みは整っているのか

答 【町長】町の支援制度を周知しながら環境を整えていく

町の支援制度の実績と進捗

Q クリエイターズデパートメント等における創業相談の実績、「未来創造会議」および「若者ミーティング」の進捗について問う。

A 町長

令和7年度は55件の創業相談を受け、そのうち8名が町内で創業した。家賃補助や不動産情報のマッチング、異業種交流会、経営診断等の支援を行っている。
シンクタンク的な役割を担う「未来創造会議」と発案の役割を担う「若者ミーティング」の連携を図り、地域経営計画をより効果的に運用していくことを狙いとしている。

「若者ミーティング」発案に

問 学校現場との連携については

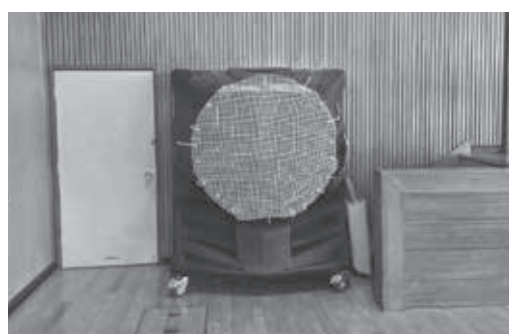
答 【教育長】より一層、学校現場との連携を図っていく

小中学校に導入した冷風機の現状

Q 小中学校の体育館に導入された冷風機の活用状況や導入前後の検討手法について問う。

A 教育長

令和6年度に中学校2校の体育館、令和7年度に小学校5校の体育館に大型冷風機を導入した。



中央小学校に導入された大型冷風機

導入前に、近隣施設への現地調査や阿久津中学校体育館においてのデモンストレーションを実施した上で導入した。体育の授業や部活動や学校行事等での利用を確認している。

しかし、使い勝手が悪いという声や、利用場面が限られるという声があることも承知している。利用率向上のため、学校をサポートしていく。



問 選挙の投票率を向上させるための取り組みを

答 【選挙管理委員会】広報活動の充実と
幅広い年齢層への啓発・周知を実施

小林 欽一 議員



現状の問題と対応

Q 投票率の低下に歯止めがかからない現状において、今後どのような対策を取ろうと考えているのか？

A 選挙管理委員会
現在、広報活動に力を入れているが、引き続き様々な媒体を活用した周知や、低投票率地区への広報車による巡回放送など、幅広い年齢層への啓発・周知を図っていく。



若者の投票率低下対策

Q 若者の投票率低下が叫ばれる中で、町として対策をどう打つとしているのか？

A 選挙管理委員会
若者の政治への無関心や、政治に対する諦め意識の増大が原因。その中で、選挙啓発冊子の配布、未来の有権者に対する各種啓発活動を実施中。

交通手段のない人への対応

Q 交通手段がなく、投票所に行けない人へのサポート体制を構築する必要があるのでは？

A 選挙管理委員会
デマンドバスの活用が有効と考える。しかし、投票後の帰りの待ち時間が必要なこと、待合室の確保が必要ことから、先進事例の調査を行いながら本町への取り入れ検討をしていく。



朝の宝積寺駅東口の混雑状況

問 高根沢町内の公共交通網の整備を

答 【町長】 たんたん号の充実と、新たな交通ネットワーク構築を検討

町民の需要が多い場所に公共交通網の整備を
たんたん号の運行区域拡大予定は

Q 宝積寺駅や新庁舎への公共交通機関を含めた、今後の町内公共交通網の新規開設見込は？

A 町長
たんたん号のさらなる市やゆいの杜地区への運行区域拡大予定はあるか？

Q たんたん号の充実と、新庁舎や産業団地の開発に伴う、新たな交通ネットワークの構築を検討していく。

A 町長
町内タクシー業を圧迫する可能性と、たんたん号の運行効率の低下から拡大は困難である。

問 区域外の生徒の一時的な転校を受け入れるデュアルスクールを推進してはどうか

答 【教育長】丁寧にお話を伺い可否を判断する

瀧 幸彦 議員



仕掛けづくりをしなければ何も生まれない

Q 令和7年の国勢調査によると、5年間でわが国の人口は309万人減少した。言いかえれば、今後3年ごとにわが国から人口200万人の栃木県が一つなくなっていくのと同じであり、人口減少時代は確定的。関係人口創出に向けた取り組みを伺う。

A 町長
全ての課が人口対策の視点をもって取り組んでいる。「宝積寺駅を核とした、各種賑わい創出事業」については目に見える一定の成果を得られたと捉えている。

友好都市締結で文化振興と地域経済の活性化を

Q 本町は長崎県雲仙市と「災害時における相互応援協定」を結んでおり、「高根沢ちゃんぽん」が現在も町内に根づいているなど、文化交流の意味でも意味があった



デュアルスクールで関係人口創出

と考えている。本町の友好都市提携の現状は？

A 町長
現在本町で、包括的な交流や親善を目的とした友好都市協定を締結している都市はない。友好都市は、締結に至るまでの交流活動や友好関係が十分に築かれたうえで成り立つもの。

住民票はそのままで一時的に転校できる

Q 平成29年の文科省の政策により、地方への一時的な移住や二拠点居住を目的とした区域外通学についても、市町村教育委員会の判断で、受け入れることができる

るようになった。徳島県や長野県松本市は人口減少対策からこのデュアルスクールを活用し、生徒からの満足度も高い。本町でデュアルスクールの取り組みはいかがか。

問 オーラルフレイル対策で介護予防を

答 【町長】ブラッシング指導をしている

歯が弱くなれば心身機能も低下する

Q 歯が弱くなると低栄養状態に陥り、筋力や身体機能が低下し要介護状態に近づいてしまう。これをオーラルフレイルという。神奈川県大和市によると、高齢化率の高い地区は低栄養者が多く、食料店舗が少ない地区や坂の多い地区は、要介護化しやすいというデータがある。本町のオーラルフレイル対策は？

A 町長
健康講座において、歯科衛生師によるブラッシング指導をしている。

Q 妊娠期は歯周病菌が増加したり、自分自身の歯の健康は後回しになってしまいがちになる。町の妊婦歯科検診の現状は？

A 町長
妊婦歯科検診は実施していないが、妊娠届の際に行っている面接の際に口腔衛生の必要性について助言している。



歯の検診に行こう

問 2028年開庁 新庁舎 中東情勢の影響は？

答 【町長】資材価格や市場動向を注視し
情報収集に努める

平石 美香 議員

YouTube



膨らんだ予算への懸念

Q 新庁舎建設に関して、中東情勢の影響による

資材価格の高騰や調達への影響が懸念される。今後の予算への影響、コスト縮減への取り組み、事業スケジュールの遅れが生じる可能性は？

A 町長

現在の総事業費の見込額約112億円は、令和7年度の概算事業費105億円に過去の物価上昇率を考慮して8%を上乗せした額であり、今般の中東情勢による

物価高騰を反映させたものではない。中東情勢による

資材の影響について、政府は「日本全体として必要な量は確保されている」としている。

一方、民間企業においては石油関連製品を中心に値上げが相次いでおり、中東情勢の長期化



新庁舎建設予定地、未来へ繋ぐ町木のイチヨウ

も懸念されることから、資材価格や市場動向を注視し、情報収集に努めていく。

町民の憩いの場への期待

Q カフェや休憩スペース、交流スペースなど、町民が気軽に立ち寄れるスペースの検討状況は？

A 町長

町の中心に位置する敷地特性を最大限に活かし、日常的な居場所と活動の場が融合する「にぎわい拠点」を目指す。

敷地の東側には町政30周年を記念して植樹したイチヨウを中心とした広場・テラスを整備し、誰もが気軽に立ち寄れる空間を整備していく。

イメージキャラクターの刷新を提案

Q 新庁舎の開庁は、高根沢町を改めてPRする良い機会になると思う。

町のイメージキャラクター「タンタン」「モモタン」の進化やアップデート、更なる活躍は？



平成10年に誕生したタンタン（左）

A 町長

「タンタン」「モモタン」は、誕生以来広報誌やホームページなど各種広告のもとより、イベント等を通じて長年にわたり町民に親しまれている。町としては世代を超えて培ってきた町民の愛着を踏まえ、と「今のデザインを守ってきたい」という考えである。

一方で「機会を捉えたPR」という点においては、「町政70周年」や「新庁舎の開庁」といったイベントが控えており、本町をPRする絶好の機会であることは認識している。ので、「タンタン」「モモタン」にさらに活躍してもらいたい。メディア、イベント等での露出、機会の拡充などについて検討していく。

新庁舎および文化・スポーツ複合施設

【計画のポイント】

建設予定地：町民広場

開庁目標：令和10年（町制70周年を迎える年）

施設構成：庁舎、文化・スポーツ複合施設

総事業予定費：約112億円

問 高根沢だいののはら産業団地

周辺の土地利用は

答 【町長】企業側のニーズを見極め

ながら、有効な土地利用を検討する

産業団地を核とした新たな土地利用を

Q 産業団地周辺の土地利用は？

A 町長

産業団地の整備が完了し、新たな企業が立地する際のニーズを見極めながら、有効な土地利用等を検討していく。

Q 道路渋滞緩和対策は？

A 町長

現時点で渋滞の度合いを推し量ることは困難な状態だが、立地企業への導線として不可欠となる、宇都宮方面から産業団地に至る、県道宇都宮向田線に対する右折レーンの設置について関係機関と事前協議を進めている。

上高根沢まで延伸を

Q LRTの延伸の可能性は？

A 町長

現時点で具体的に検討しているものはない。新たに企業が立地することに伴うニーズを見極める必要がある。



夢と希望を乗せて走るLRT（芳賀・高根沢工業団地駅）

問 若手・新規就農者の確保と農業振興対策は

答 【町長】補助制度を設けて手厚い支援をしている

齋藤 誠治 議員

YouTube



手厚い支援策を

Q 若手・新規就農者の確保に向けて、現在実施している支援策は？

A 町長

栃木県、市町、農業委員会、JA等で構成される「就農支援ネットワーク」が設立され、新規就農者や就農希望者に対して就農相談や移住相談を実施して、研修の実施や農地・農業施設・農業機械のあっせん、営農資金などの相談が行える体制ができています。

さらに認定新規農業者に対しては、町単独事業である園芸作物推進支援事業費補助金制度を設けて手厚い支援をしている。



就農して3年目、栗ヶ島の横須賀魁斗君に期待！

持続的に発展する農業を

Q 10年先を見据えた農業振興対策は？

A 町長

町は、農業者が興味関心をもっている農地の大区画化事業やスマート農業、直播の手法などを話し合いのできる場で提供し、効率的な地域農業のための議論ができるよう推進して、「地域経営計画2026」で掲げた「持続的に発展する農業」の確立につなげる。

問 高齢者が健康で安心して住み続けられる環境づくりを

答 【町長】社会福祉協議会と連携を図りながら取り組んでいく



YouTube

森 弘子 議員

高齢者が地域でいきいきと生活するために

Q 町と社会福祉協議会は居場所（ふれあいサロン）づくりを進めてきたが、町内の約半分の地域でしか設置されていない。

更に拡充していくためには生活支援コーディネーターの役割が大きいと考えるが、今後の果たす役割は？

A 町長

町の第1層コーディネーターは、町全体の地域課題を分析し、高齢者の生活支援や介護予防サービスの体制整備を推進する役割を担っている。サロンの立ち上げを支援する社会福祉協議会の第2層コーディネーターが地域で活躍しやすい環境を整えることが役割と考えている。



特養待機者解消のために

Q 待機者が多い特別養護老人ホームの誘致活動を今後どのように進めていくのか？

A 町長

高齢者が安心して暮らせるよう、事業者のメリットと現時点における入居待機者数の推計を精査しながら、施設整備に向けより効果的な情報発信などに取り組んでいく。



問 安心して学べる

学校環境の充実を！

答 【教育長】学校と連携し検討していく

安心して学校生活を送れるように 安らげる学童保育に

Q 女子生徒にとって学校生活が快適に過ごすことができるように、小中学校の女子トイレに生理用品を置く取り組みを実施してはどうか？

A 教育長

町では現在、学校の保健室に予備の生理用品を配置し希望があった児童生徒に対し配布する対応をとっているが、女子トイレへの配備について、学校と協議しながら検討する。検討にあたり保健室での対面式のメリットが損なわれない仕組みづくりが重要である。

Q 阿久津小学校の学童保育で利用している音楽室は、暗く生活の場になっていない。新たに学童クラブ施設の設置を検討してみてはどうか？

A 教育長

学童保育所を利用している児童は多い状況である。阿久津小学校はもちろん、それぞれの小学校において学童保育利用児童を受け入れて、より良い学童保育を提供するためにも、環境整備に取り組む必要がある。小学校の規模適正化に向けたスケジュールと整合性を図りながら、新たな施設の設置などの方策について検討を進めたい。

問 道の駅たかねざわ元気あっぱむらの早急な経営再建を

答 【町長】必要に応じて対応を検討していく



YouTube

野口 昌宏 議員

速やかな駅長の交代を

Q 昨年度の経営状況が、約1900万円の赤字となつていたり五月雨的な各テナントのオープンなど、現場の運営についても様々な課題が指摘され、これらの問題を早急に解決するためにも、責任者である駅長の交代を速やかに行うべきと考えるが？

A 町長

町が100%出資する株式会社元気あっぱによる指定管理開始以降、集客を含めた運営体制の脆弱性について、課題があることは事実である。

今年度は、経営状況の回復や施設の活性化を図るための重要な年と位置付けているため、駅長の交代についても必要に応じて判断をしていく。

指定管理者を民間の会社に変えるべき

Q 現在の指定管理者は第3セクター方式であり、町長が社長となっていることから、現場の運営状況のチェックが難しいのではないかと？



経営再建が望まれる元気あっぱむら

新たな交流拠点構想と元気あっぱむらの関連性は？

Q 国道408号と4号の合流地点に新たな施設を作る構想と、元気あっぱむらの再建との関連は？

A 町長

交流拠点は令和10年度を目途に構想をまとめたい。元気あっぱむらとの関連については課題の洗い出しと整理を行っていく。

問 学校給食をより充実するため

に保護者負担も求めては

答 【教育長】引き続き全額無償化を図っていききたい

全額無償化と併せて保護者にも応分の負担を

Q 物価の高騰とともに、給食費の全額無償化には限界があるのではないかと。塩谷地区内での1食当たりの給食費は小・中ともに本町が最も低い金額でやりくりしている。宇都宮市では、国や県・市の補助の他に保護者からも応分の負担（月1000円前後）をお願いしている。

本町においても1食あたりの単価を増額して給食をより充実させるべきでは？

A 教育長

本町では近年の食料料費の高騰に対応するため、5年連続で給食費を値上げしており、昨年10月からは全額無償化を図ってきた。必要なエネルギー

塩谷地区における小中学校の1か月の給食費補助額と1食分の金額比較

月額	高根沢町		さくら市		塩谷町	
	小	中	小	中	小	中
補助						
国	2,600円	—	2,600円	—	2,600円	—
県	2,600円	2,950円	2,600円	2,950円	2,600円	2,950円
市町	200円	3,550円	470円	3,720円	2,000円	4,950円
1食分	305円	367円	322円	377円	355円	400円

1や栄養バランスは満たしていることから、現時点では保護者負担を求めることは考えていない。



問 学校給食無償化後の質と量の維持は

答 【教育長】必要なエネルギーや栄養バランスを踏まえた適切な学校給食を実施していく



YouTube

岩崎 康弘 議員

子どもの健やかな成長を

Q 本町の1食当たりの給食単価は、小学校、中学校でそれぞれいくらか。さらに今後、物価高騰が見込まれるが、その上昇分についての財政負担の考えは？

A 教育長

令和8年度の一食当たりの給食単価は、小学校で約305円、中学校が約367円となっている。また今後も材料費の値上がり分を反映させた



学校給食の「高根沢焼ちゃんぽん」

上で、適切な学校給食費の額を決定して実施していくが、国や県の補助基準額を超える部分については、引き続き町の負担として実施していきたいと考えている。

問 情報発信や住民サービス向上に向けて今後は

答 【町長】運用体制の整備が必要

時代に合った情報伝達を

Q LINE公式アカウン ト導入についてどのよう に考えているのか？

A 町長

セキュリティ面や個人情報 の取り扱い、運用体制の整備

など、慎重に検討すべき。活用方法を含め、継続して導入に向けた調査、研究を深めていく予定。また検討にあたっては、他自治体の状況なども参考に、費用対効果やセキュリティ対策などについても考慮しながら進めていく。

問 地区防災計画策定の現状は

答 【町長】12の自主防災組織で 計画策定

災害が起きる前の備えを

Q 今後、自治会や自主防災組織とどのように連携し、地域で命を守る防災体制を構築していく考えなのか？

A 町長

地区防災計画は、地域住民が主体となって自らの地域を守るための重要な計画であり、町として引き続き、未策定の地域に対しても丁寧に働きかけ、計画策定を促していく。

令和8年5月末現在、12の自主防災組織で計画が策定されるに至った。共助の観点から地域防災力の向上を担うのは、まさに地域、とりわけ自主防災組織であり、その活動をより実効性の高いものとするためには、専門的な知識と技術を持った人材が欠かせない。

そこで町では、「防災士資格取



「台新田は、私たちが守る」地区防災計画の協議

得補助制度の運用」や「防災士養成講座の開催」などにより、防災士の養成に取り組んできた。防災士には、避難情報、安否確認、避難所運営といった局面を想定し、「誰が、何をするのか」を分担しておくことも含めて、地域および自主防災組織とも連携し、平時から培われた知識と経験を発揮いただけることを期待している。町としては、引き続き自主防災組織や防災士と緊密に連携し、地域全体の防災力が着実に高まるよう努めていく。

問 土砂災害特別警戒区域の対策は

答 【町長】飯室と平和台で実施済 阿久津中学校西側区域で工事予定



YouTube

小池 哲也 議員

巨大地震の対策は

Q 南海トラフ地震や首都直下地震などの巨大地震の発生確率が高まっており、土砂災害特別警戒区域の対策が必要だ。対策は、どのように行われたのか？

A 町長

本町には、11箇所の土砂災害特別警戒区域がある。その中で、とりわけ緊急性が高く、安全確保が必要な地区については、「急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律」に基づき県が急傾斜地崩壊危険区域に指定し、法面保護や地山補強などの適切なハード対策を講じる。本町では、これまで、飯室および宝積寺平和台地区について県に要望を行い、ハード対策が実施された。

児童・生徒の安全確保を

Q 対策が行われていない区域においては対策が必要だ。特に、阿久津小学校・阿久津中学校西側の特別警戒区域は、児童・生徒の安全確



平和台地区で行われた対策（法面工事）

保、両校が指定緊急避難場所等になっていることから、対策を早急に講じる必要がある。今後の予定は？

A 町長

阿久津中学校西側の区域が令和6年度に事業決定され、急傾斜地崩壊危険区域に指定される見込みであり、令和9年度から、矢板土木事務所において法枠工や地山補強土工などの工事に着手する予定。

土砂災害対策の重要性は高まっており、人的被害や物的損害はもとより、被災の可能性に対する不安の軽減を図るためにも、引き続き県に対して土砂災害対策を要望する。

問 道路通行支障が夜間・休日に発生！ 初動体制は

答 【町長】連絡先共有、速やかに現場確認。業者への依頼も

夜間・休日の連絡等は

Q 土砂崩れや倒木により、道路通行に支障をきたす事故が発生した場合、速やかに原状に戻すことが求められる。夜間や土・日曜日、祝日等の連絡体制は？

A 町長

役場の日直・さくら警察署・高根沢消防署において、都市整備課職員の連絡先が共有されている。夜間や休日等、道路の通行に支障をきたすような事案は、職員に連絡が入る体制となっている。

初動体制は

Q 安全・安心を確保し、通行に支障をきたさぬよう、早急に原状に戻すための初動体制は？



速やかに現状に戻して安全確保を！

連絡を受けた職員は、速やかに現場の確認を行い、状況に応じて、職員自身もしくは業者に依頼して、通行の支障となっている原因を除去し、交通安全の確保を図ることとしている。

今後とも、安全・安心な通行の確保に向け、関係機関と密接に連携を図り、迅速に対応できるよう努めていく。



いしづか 尚美さん(花岡東上)
趣味：旅行

高根沢町の次世代女性農業者の分野で、とても頼りになる方のご紹介です。
農業の今後の展望に関心を持ち、農業一本の道を選択し、今ではやりがいも感じているという石塚尚美さん。
三人のお子さんを育てながら、専業農家として奮闘中。
そんな頑張る石塚さんにお話を伺いました。

広報委員の突撃 インタビュー あなたの声を町政に

父母の背中を見て
農業に生きがいを感じて



日々、雑草との戦いが続く

本気で取り組む農業

Q 専業農家を始めたきっかけは？

A 両親が農業(水稻等)経営を大規模に行っています。ある日「突然、農業の経営移譲が生じたらどうしよう」と思うようになりました。そこから徐々に農業に関心が高まり、一念発起、オクラ栽培経営を始めました。はじめは農業経営のノウハウや知識もなく見よう見まねで苦労しましたが、少しずつ軌道に乗り始めました。

悩み多き農業経営

Q どんな作物を作っていますか？ また、苦労していることや悩んでいるところは？

A 約3年前からオクラを10アール作っています。苦労しているところは、病害虫に対する予防対策や、施肥の時期や量の調整が難しい点です。また、若者たちが積極的にオクラ栽培に参入できるような環境づくりをどうしていくかが悩みです。

次世代の農業経営

Q これからの農業についてどう思いますか？

A 地域の農業者の高齢化が進む中、一人でも多くの若い女性が農業を身近に感じられるよう、比較的簡単に始められるオクラ栽培の情報提供を様々な場面を通して発信したいと思います。

持続可能な農業を

Q 町づくりに対して望むことは？

A 他市町と比較すると農業者に対しての補助金や助成金が少ないと感じます。新規就農や新たな野菜栽培などへの挑戦に対応できるような補助金等の制度を導入してほしいと思います。
また、若手女性農業者とコミュニケーションをとる機会を設けるようお願いします。
(小堀)



どんな大人に成長するのかな♪



素敵な笑顔だね

議会だよりの表紙の写真を募集しています。

募集要項等の詳細については、議会事務局のホームページをご覧ください。



編集後記

町民と議会をつなぐ「カフェ・ド・ギカイ」、次回は子育て世代の方々の声に耳を傾けます。議会も新体制がスタート。議会だよりの皆様からの感想など、お待ちしております。

議会広報常任委員会

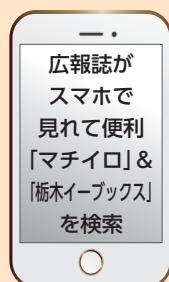
委員長		副委員長		委員	
瀧	幸彦	小堀	秀一	寺内	光夫
岩崎	康弘	小林	欽一	平石	美香



マチイロHP



トチギイーブックスHP



広報誌が
スマホで
見れて便利
「マチイロ」&
「栃木イーブックス」
を検索

